

お盆のホオズキ、8月上旬に収穫ピーク 産直店舗では特設コーナーで売り出し中！

お盆を前にした8月上旬、JA西三河の管内の西尾市ではホオズキの収穫が盛んに行われています。西尾市内では約10人の産直農家がホオズキを栽培し、JA管内の産直店舗や産直コーナーで販売しています。

ホオズキが売れるのは一年の中でもこの時期だけ。産直農家はこの日のためだけに栽培に取り組み、出荷時期には一家総出で早朝から収穫・出荷の作業に臨みます。



ホオズキ圃場での収穫
農家のお子さんがお手伝いすることも

■ホオズキ収穫農家 取材対応日■

【日時】8月7日（火） 9時集合

【集合】九番組公民館 駐車場

（西尾市鳥羽町西迫）

※集合後、収穫を行っている農家の圃場へご案内します。

※取材される報道機関の方は、JA西三河企画課の岡田までご連絡ください。

※雨天等天候不順の場合には収穫を行わない場合があります。その場合には、事前に取材のご連絡を頂いていた報道機関の方にはこちらからご連絡いたします。

※場所の詳細については別紙をご覧ください。

JAの産直店舗ではお盆に合わせて、お墓や仏壇に供える仏花の販売を強化しています。

8月上旬からは特設販売コーナーを設けてホオズキなどの仏花を販売。最盛期となる10日前後には、売場にいっぱいのホオズキがコーナーに並びます。



産直店舗ではホオズキ・仏花の特設コーナーを設置
ピーク時にはコーナーにいっぱいのホオズキが並び



JA西三河の産直事業 ～多品目の野菜を地元へ届ける～

■JAの産直事業の概要

JA西三河では、西尾市内に3つの産直店舗をもつほか、Aコープ4店舗に産直コーナーを設け、新鮮な産直野菜を地元・西尾市に届けています。

JA西三河では産直店舗・産直コーナーに出荷する農家のために産直部会を設けています。部会では年に2回の栽培指導会などを通して生産者を指導するほか、定期的に残留農薬検査を行い、適用外の農薬が使われていないかや、基準値以上の農薬が検出されないかを厳しくチェックしています。また産直へ加工品を出荷する農家へは、保健所と協力して食品衛生条例に関する指導を行い、安全・安心な食品を提供できるよう努めています。



にぎわう産直店舗
(アグリプラザ幡豆店、2017年3月)

■JAの加工品

「西三河の自然の恵」

JA西三河の産直振興部では、地元の農産物を利用した安全・安心のオリジナル加工品「西三河の自然の恵」を製造し、主に西尾市内のAコープや産直店舗で販売しています。

家庭でのご利用から贈答用まで、様々な用途にご利用いただける商品を取り揃えています。原材料はほぼすべてが西尾市産で、地元農作物PRと消費拡大に貢献しています。



「西三河の自然の恵」商品ラインナップ

■お盆の産直は大賑わい！

お盆期間のAコープ・産直店舗では、たくさんのお客様が切花・仏花などを目当てに来店し、開店直後から大変賑わいます。生花店よりも安価であることから人気を集めています。

なかでも産直コーナーは大人気。お盆前ということで、切花・仏花は普段に比べ、約5倍の豊富な品ぞろえをしていますが、あっという間に品薄となります。産直部員らは人気の商品を切らさないよう、新鮮な切花・仏花を次から次へと産直コーナーに並べます。



お盆期間の産直コーナーは、
仏花やホオズキを買い求める来店者でいっぱい

【生産者部会情報】

名称：JA西三河産直部会

部会員数：553人

販売額：約11億4000万円（平成28年）

JAの産直店舗：

憩の農園、アグリプラザ幡豆店、さかなセンター

産直コーナーのある市内Aコープ：

桜町店、西尾東部店、一色店、吉良店

集合場所の詳細：

九番組公民館 駐車場（西尾市鳥羽町西迫）

※県道317号線沿い、鳥羽神明社・幡豆の田んぼアート所在地の近く

至吉良町・友国



至西幡豆